

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号								
事務事業名	消防団運営経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	09	項	01	目	02	事業	02
担当部	市長公室	担当課	防災危機管理課	担当係	消防	係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)			根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 消防団条例、消防団の組織等に関する規則、消防表彰等に関する規律、消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例)										

2 事務事業の目的

☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	消防団員は、通常は各自の職業に従事しながら、いざ火災等災害が発生した際には、いち早く現場に駆け付け災害防ぎょ活動等を行っており、一般住宅における消火活動はもちろんのこと、特に地震や風水害等の大規模災害時においても災害の拡大防止に活躍が期待されている。そのような中、現在、消防団員の減少、平均年齢の上昇が課題となっている。	誰・何を対象に 市民	どのような方法・手順で 消防団PR等による入団促進	望ましい状態 今後も火災や自然災害等に対処できる体制を継続していくために、若い世代が消防団活動を経験することにより、世代間のつながりを築き、自助・共助の意識・知識を地域ぐるみで当たり前のよう共有できる体制を整えることが、すそ野の広い地域防災体制を構築することができる。
------	--	---------------	------------------------------	---

3 事務事業の主たる成果指標

☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	消防団員数	単位	人	目標値	472	目標年次	10	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)
消防団条例定数を旨とする。									

4 事務事業の実績 ①

☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度						
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量					
事務事業を構成する主な業務	① 退職団員報償事務	1事務	① 退職団員報償事務	1事務	① 退職団員報償事務	1事務					
	② 消防団員表彰事務	1事務	② 消防団員表彰事務	1事務	② 消防団員表彰事務	1事務					
	③ 火災、災害等現地出動	36件	③ 火災、災害等現地出動	70件	③ 火災、災害等現地出動	43件					
	④ 消防団会議	22回	④ 消防団会議	23回	④ 消防団会議	23回					
	⑤ 消防団各種訓練	12回	⑤ 消防団各種訓練	12回	⑤ 消防団各種訓練	12回					
	⑥ 消防操法訓練	1事務	⑥ 消防操法訓練	1事務	⑥ 消防操法訓練	1事務					
	⑦ 消防学校入校事務	5回	⑦ 消防学校入校事務	5回	⑦ 消防学校入校事務	5回					
	⑧		⑧		⑧						
	⑨		⑨		⑨						
	⑩		⑩		⑩						
	⑪		⑪		⑪						
	⑫		⑫		⑫						
目標値に対する実績値		435 人	目標値に対する実績値		419 人	目標値に対する実績値		421 人			
決算額	計	52,086,632 円	内訳	特定財源	0 円	計	58,679,143 円	内訳	特定財源	0 円	
				一般財源	52,086,632 円				一般財源	58,679,143 円	
		(住民一人あたりの行政コスト)	857 円			(住民一人あたりの行政コスト)	971 円			(住民一人あたりの行政コスト)	835 円

5 担当者評価 ③

☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	成果内容
問題点	

6 担当部長及び担当課長評価 ③

☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

7 実施計画 ②

☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業内容	退職団員報償事務 消防団員表彰事務 火災、災害等現地出動 消防団会議 消防団各種訓練 消防操法訓練 消防学校入校事務	退職団員報償事務 消防団員表彰事務 火災、災害等現地出動 消防団会議 消防団各種訓練 消防操法訓練 消防学校入校事務 機構改革に伴う業務	退職団員報償事務 消防団員表彰事務 火災、災害等現地出動 消防団会議 消防団各種訓練 消防操法訓練 消防学校入校事務	
成果指標	指標名 消防団員数 単位 人 目標値 425	指標名 消防団員数 単位 人 目標値 430	指標名 消防団員数 単位 人 目標値 435	
予算額	歳出	計 53,527 千円	計 56,142 千円	計 55,000 千円
	歳入	特定財源 0 千円 一般財源 53,527 千円 計 53,527 千円	特定財源 12,667 千円 一般財源 43,475 千円 計 56,142 千円	特定財源 12,000 千円 一般財源 43,000 千円 計 55,000 千円

8 財務アドバイザーの見解

9 行政改革懇談会(市民)の意見

10 最終評価(行政改革推進本部) ③

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ④

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

消防団員の要望をなるべく反映させた施策を進めていく。